

一般質問通告順序表

No.1 (令和6年9月9日)

番号	質問者	質問の相手	質問の要旨
1	田畑 和彦	市長 教育長	<p>1. 人口減少・少子化対策について 市長は昨年、「人口減少・少子化緊急対策元年」と位置付け、子どもや若者に絞り込んだ政策として、保育料の無償化・イクボス企業応援などの取組を開始。更に今年度、これまでの取組を拡充・継続のほか、学校給食費の無償化・保育士等就職支援などの新規事業に取組まれた。 (1) 市長はこれらの取組に対し、現状をどのように評価しているのか伺う。 (2) 保育士等就職支援事業の周知方法と活用状況について伺う。 (3) 公立の小中学校を対象とした給食費の無償化は、本市に居住し私立の学校に通う児童生徒も対象とすべきと思うが如何か。</p> <p>2. ハラスメント等について (1) 市職員全体に関わるハラスメントに対する、市長の見解と再発防止対策等について伺う。 (2) 窓口でのカスタマーハラスメントの状況について伺う。 (3) カスタマーハラスメントの対策は、急務と考えるが如何か。</p> <p>3. 炎天下の道路補修等について (1) 市長は、炎天下で作業する土木作業について、どのように評価されているのかを伺う。 (2) 都市建設課直営班の人員体制等について伺う。 (3) 熱中症予防対策グッズの支給・貸与等について伺う。 (4) 炎天下での作業は、生命の危険を伴う。土木作業員の処遇改善を行うべきと思うが如何か。</p>
2	東 育代	市長	<p>1. 地震、津波への対策について 日向灘地震が発生した。南海トラフ地震臨時情報が出され、突然発生する地震と津波への不安と備えについて改めて考えさせられた。地域や個人の防災意識を高める取組の充実が重要となってくる。 (1) 自主防災組織による避難訓練や防災意識を高める研修の実施、もしもの備えについて伺う。 (2) 緊急時、市からの情報発信、市民が情報を受け取る方法等について伺う。 (3) 家庭内における防災意識や連絡体制、防災グッズの整備など、市民意識の啓発について伺う。 (4) 避難所や自主避難施設の状況、避難の考え方について伺う。 (5) 要援護者への対応について、受け入れ施設との連携、寝たきりや自力での避難が困難な方々への対応はどのように考えているか。 (6) 外国人への対応について、外国語での情報提供、地域住民との連携等、どのような状況か。</p> <p>2. 男女共同参画の推進について 市では、男女共同参画基本計画（令和5～10年度）が策定され、取組が進められている。県内の自治体では、推進条例を制定しジェンダー平等と多様性の尊重について、自分事としての取組が始まっている。 (1) 男女共同参画推進条例の制定について伺う。 (2) パートナーシップ制度について伺う。</p>

3	江口 祥子	市長	<p>1. こども誰でも通園制度について</p> <p>令和6年6月5日、「こども誰でも通園制度」の創設を含む、子ども・子育て支援法等の一部を改正する法律案が可決成立した。同制度は、親の働き方を問わず、時間単位で保育所などを利用できる制度である。</p> <p>(1) 国では令和8年度から全国展開を目指しているが、本市の受入体制など課題を伺う。</p> <p>(2) 本市でも一時預かり事業があるが、違いについて伺う。</p> <p>(3) 保育士の確保をどのように見込み、補充していこうと考えているのか。</p> <p>2. 子宮頸がん検診とHPVワクチンについて</p> <p>(1) 厚生労働省は、子宮頸がんの原因となるHPV（ヒトパピローマウイルス）の感染を調べる検査について、令和6年4月から市区町村が実施する検診への導入を可能としているが、本市での導入について伺う。</p> <p>(2) 子宮頸がん検診の受診状況と受診率向上のための取組について伺う。</p> <p>(3) HPVワクチンキャッチアップ接種について伺う。</p> <p>(4) HPVワクチンを接種する男性に対し、接種費用の一部を助成する考えはないか伺う。</p>
4	吉留 良三	市長	<p>1. 市民に頼りになる市役所をつくるために、今なすべきことについて</p> <p>(1) 市役所は、市民の暮らしと安心のよりどころである。市民に期待される市役所となる人員体制等を再構築する時ではないか。</p> <p>(2) 若手職員の退職など、職場が安定していない懸念がある。退職した市職員の内訳とその理由について伺う。</p> <p>(3) 本市のような小規模自治体でも、大規模自治体に負けない行政執行能力が問われる。そのためには、有能な人材の確保が必要であると考えるが、市としてどのような努力をしているか。</p> <p>(4) 最低賃金の改定などの対応（非常勤職員、指定管理者など）をしっかりとやるべきではないか。</p> <p>(5) 消防職員の処遇改善のため、緊急消防援助隊派遣手当について、早く条例化すべきではないか。</p> <p>(6) 市民に期待される市役所となるためには、人材育成の上で、職員研修が特に大事だと考えるが如何か。</p>

一般質問通告順序表

No.2 (令和6年9月10日)

番号	質問者	質問の相手	質問の要旨
5	高木 章次	市長	<p>1. 新型コロナワクチンについて</p> <p>(1) 新型コロナワクチン (mRNA ワクチン) 接種による副反応について、どのように考えているか伺う。</p> <p>(2) 本市は 10 月からレプリコンワクチンの接種を 65 歳以上の希望者に行う計画を進めているが、その安全性に対して多数の医療関係者から危惧する意見が出ている。十分な安全性の検証を待つべきと思うが考えを伺う。</p> <p>2. 川内原発について</p> <p>(1) 事故時の避難することによるリスクが高まる入所者がいる介護施設、病院などの施設職員は、避難することなく施設に留まることに同意をしているのか伺う。</p> <p>(2) 事故時に対応する市職員の被ばく限度量はどうか決まっているのか。限度量を超えた場合はどうか対応することになっているのか伺う。</p> <p>(3) 避難計画に関する住民の意見聴取の準備の状況を伺う。</p> <p>(4) 川内原発の使用済み核燃料乾式貯蔵施設建設を九電は検討中としているが、前提とする搬出先の六ヶ所再処理工場の完成は 27 回目の延期が確定し、見通しもない。反対すべきと思うが、考えを伺う。</p>
6	大六野 一美	市長	<p>1. マニフェストについて</p> <p>(1) 現段階での進捗と自己評価を問う。大項目毎に示されたい。</p> <p>(2) 一期四年のマニフェストであり、市民への約束だと理解している。第3コーナーにさしかかろうとしている現段階で、残り1年余りでの達成の目途を問う。もし、未達成となった場合の市民への説明責任はどのようにされるつもりか。</p> <p>2. 市職員の定住率について</p> <p>(1) 入庁時に市内に居を置く事が条件であったと理解している。現状で何ら問題ないとの理解で良いのか。</p> <p>(2) 職員は日常の業務もさることながら地域住民・地域との交わりを密にする事も公僕としての責務であると思うがいかがか。</p> <p>(3) 管理職・一般職員別に実態 (市内に居住しているか、いないか) を問う。</p>

7	福田 清宏	市長	<p>1. 串木野さのさ祭りについて 令和7年10月予定の市制施行20周年記念事業を前にして、昭和47年に始まった串木野さのさ祭りの原点に立ちかえり、1部に、さのさ祭り市中流し踊りは“串木野さのさ”と“鹿児島はんや節”の2曲で踊り、2部に、(仮称)元気祭りとして“鹿児島おはら節”や“いちき串木野元気でいこう”等の踊りとともに、“串木野さのさ”の振付けのない踊りや“神輿”も繰り出す様な構成は考えられないか伺う。</p> <p>2. 五反田川河口左岸の堤防について (1) 新港大橋入り口左側にあるガードパイプは、錆びて壊れたり欠損したりして、長くそのままになっているが、改修の手立てについて伺う。 (2) 台風等による高潮が予想される時などに、新港大橋の下流側にある岸壁への出入り口の波止め板の設置は、長年、岸壁を船着き場として使用していた沿岸漁業従事者が行っておりましたが、今後、波止め板の設置はどこの部署が担当することになるのか伺う。</p> <p>3. 井戸の調査について (1) 災害時の使用に協力できる井戸の調査が行われているようであるが、公共下水道の供用開始時に使用する井戸は、申し出て水道メーターを付け下水道使用料を払うようになっているので、この区域についての調査は必要ないと思うが如何か伺う。 (2) 災害時の使用に協力できると申し出た水道メーターが付いていない井戸は、下水道使用料を払うことになるのか伺う。</p> <p>4. 公園の整備について (1) かもめ公園ソフトボール場は、平成30年頃に土砂を入替えて整備したにもかかわらず、その時以上に広範囲に亘って固まっている。再度の改修整備について伺う。 (2) 長崎鼻公園入り口階段と上がって右に進む遊歩道、また文京町団地の西側の道路の山手側や公園の雑草は、伸び放題に茂っているが、児童・生徒の夏休み前の適当な時期に、刈取りは出来なかったのか伺う。 (3) 都市建設課の直営作業班は、十分な体制がとられているか伺う。</p>
---	-------	----	--